

## 4月職員研修

4月18日午後7時から姫路市立美術館学芸課 学芸員 安部すみれさんを講師に迎え、職員22名が参加して「姫路市立美術館所蔵の日本画」について研修を受けました。

日本画とは、技巧的には奈良時代から平安時代に中国・朝鮮半島から渡来したもので、膠彩画と呼ばれています。「日本画」という呼称や概念が生まれたのは、明治期「洋画」が移入して以降のことで、定義があいまいな言葉であることを学びました。

そして、東京と京都における日本がの展開や日本画の特性、天然絵具等材料・技法の紹介、姫路市立美術館所蔵の日本画について分かりやすく講義下さいました。

姫路市立美術館では様々な展覧会が開催されており、これを機会に足を運んでみようと思いました。

